

# 設計業務標準仕様書

## 第1章 総則

### 1. 1 業務の目的

本委託業務（以下「業務」という。）は、本仕様書に基づいて特記仕様書に示す事項に係る委託対象地域の布設替詳細設計業務を実施することを目的とする。

### 1. 2 標準仕様書の適用範囲

業務は、本仕様書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める仕様に従い施行しなければならない。

### 1. 3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても原則として受注者の負担とする。

### 1. 4 法令等の遵守

受注者は、業務の実施に当り関連する法令等を遵守しなければならない。

### 1. 5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を堅持するように努めなければならない。

### 1. 6 秘密の保持

受注者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

### 1. 7 公益確保の責務

受注者は、業務を行うに当っては公益の安全、環境、その他の公益を害することの無いように努めなければならない。

### 1. 8 提出書類

受注者は、業務の着手及び完了に当って長浜水道企業団の契約約款に定めるものの外、下記の書類を提出しなければならない。

（イ）着手届 （ロ）工程表 （ハ）管理技術者届 （ニ）照査技術者届

（ホ）職務分担表 （ヘ）完了届 （ト）納品書 （チ）業務委託料請求書等

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承諾を受けるものとする。

1. 9 管理技術者及び技術者

- (1) 受注者は、管理技術者及び技術者をもって秩序正しく業務を行わせるとともに高度な技術を要する部門については相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。
- (2) 管理技術者は、技術士（上下水道部門（上水道及び工業用水道））の資格を有するものとし、業務の全般に渡り技術的管理を行わなければならない。
- (3) 受注者は、業務の進捗を図るため契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1. 10 工程管理

受注者は、工程に変更が生じた場合には速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1. 11 成果品の審査及び納品

- (1) 受注者は、成果品完成後に長浜水道企業団の審査を受けなければならない。
- (2) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所はただちに訂正しなければならない。
- (3) 業務の審査に合格後、成果品一式を納品し長浜水道企業団の検査員の検査をもって業務の完了とする。
- (4) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務の瑕疵が発見された場合、受注者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

1. 12 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは誠意をもってこれに当り、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1. 13 参考資料の貸与

長浜水道企業団は、業務に必要な関係資料等を所定の手続きによって貸与する。

1. 14 参考文献等の明記

業務に文献その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記するものとする。

1. 15 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

1. 16 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、長浜水道企業団、受注者の協議の上、これを定める。